

平成23年度京都市職員採用試験の実施計画は次のとおりです。

平成23年3月18日

京都市人事委員会委員長 彦惣 弘

平成23年度から、上級Ⅰ（大卒程度）一般事務職の採用試験において新たに福祉の区分を設けます。それに伴い、上級Ⅰ（大卒程度）一般事務職については、行政職と福祉職の2区分に分けて採用試験を実施します。

1 今年度の上級Ⅰ（大卒程度）採用試験の変更点

(1) 福祉職の新設

福祉行政に対する高い意欲と専門性をもった人材を確保するため、福祉職を新設し、採用試験を実施します。試験の詳細は、5月19日（木）発行の受験案内で発表します。

福祉職の概要	
受験資格	採用予定日現在で満22歳以上満26歳以下の方で、社会福祉主事任用資格を取得している方又は取得する見込みの方
職務内容	生活保護や児童・高齢・障害福祉に関する相談・援助業務、福祉施策の企画立案・事業推進等の業務に従事します。
配属先	福祉事務所、児童福祉センター、保健福祉局など
試験内容	○第1次試験 教養試験，専門試験，口述試験 専門試験は、社会福祉に関する分野（社会福祉概論（社会保障を含む。）、社会学概論，社会心理学，一般心理学，社会調査）から40問出題します。 ○第2次試験 口述試験，作文試験

(2) 行政職の専門試験における出題分野の変更

行政職の専門試験において、出題分野を変更します（社会福祉概論，社会学概論，一般心理学の3分野を削減）。出題形式は、40問中30問選択解答制で、昨年度からの変更はありません。

22年度（17分野）	23年度（14分野）
政治学，行政学，憲法，行政法，民法，労働法，経済原論，経済事情，経済政策，	政治学，行政学，憲法，行政法，民法，労働法，経済原論，経済事情，経済政策，

経済史, 財政学, 経営学, 社会政策, 国際関係, 社会福祉概論, 社会学概論, 一般心理学	経済史, 財政学, 経営学, 社会政策, 国際関係
---	---------------------------

2 試験実施日程等

試験区分	職種	受験資格の年齢要件 (平成24年4月1日現在)	第1次試験日
上級Ⅰ (大卒程度)	一般事務職 (福祉職を含む。)	22歳～26歳	6月26日(日)
	一般技術職	22歳～28歳	
	消防職	22歳～27歳	
上級Ⅱ (大学院)	一般事務職	30歳以下	7月24日(日)
中級 (高卒程度)	一般事務職, 一般技術職, 消防職	18歳～21歳	9月25日(日)
	学校事務職	18歳～45歳	
身体に障害のある方	一般事務職	18歳～29歳	
民間企業等職務経験者	一般事務職, 一般技術職	27歳～59歳	
青年海外協力隊等活動経験者	一般事務職	24歳～42歳	11月27日(日)
免許・資格職等	保健師など	(保健師, 保育士)	6月26日(日)
	保育士など	～29歳 ※職種により異なる	9月25日(日)

※ 採用予定日は、平成24年4月1日です。

※ 受験案内は、6月試験用及び7月試験用は5月19日(木)、9月試験用は6月下旬

旬，11月試験用は10月上旬に発行する予定です。

※ 募集職種，募集人数，その他の受験資格，試験内容の詳細については，受験案内で発表します。

3 採用案内パンフレットの配布

市職員の仕事の紹介，勤務条件などを記載している採用案内パンフレットを3月23日（水）から人事委員会事務局，市役所庁舎案内所，各区役所・支所のまちづくり推進課，京都市各図書館などで配布します。

（人事委員会事務局任用課）